

# JWAF journal

日本勤労者山岳連盟

2024 2

日本勤労者山岳連盟 Japan Workers' Alpine Federation

〒162-0814 東京都新宿区新小川町5番24

TEL: 03-3260-6331 FAX: 03-3235-4324

Mail: jwaf@jwaf.jp

発行責任者/川嶋高志 発行年月/2024年2月



高落場山

「天翔」

世界文化遺産である五箇山と旧城端町を結ぶ五箇山街道の唐木峠から登る山で、四季を問わず登山者の多い山です。今年の初登山は寒い朝で、山頂に近いブナ林では、天を衝くブナを覆う樹氷と真っ青な空がマッチし、素晴らしい広がりでした。

(金谷興治・チャムラン山の会/石川)

- 第36回総会
- 全国雪崩講習会

# 第36回定期総会 未来のために、和平と安全登山を目指そう！

2024年2月17日～18日 東京都府中市



日本勤労者山岳連盟の第36回総会が、2月17・18日に東京都府中市のホテルで開催された。出席は32地方連盟から57名の代議員(定数76名)、傍聴6名と全国連盟役員など総計99名が出席した。

2日間にわたって代議員から積極的な質問や意見、提案が続き、討議を経て、第1号議案(2023年度活動総括と2024年度活動方針)、第2号議案(2023年度財政活動総括と2024年度予算案)が賛成多数で可決された。

## ■能登半島地震救援募金200万円を石川県連へ



総会の最後には、能登半島地震救援募金200万円の目録が、渡邊健治・全国連盟副会長から坂田孝雄・石川県連会長へ手渡された(写真)。募金は2月16日の第一次集約時点で、80の地方連盟・会・個人から寄せられた。

討論や発言内容など総会の詳細は、JWAF journal3月号であらためて報告する。

## 第36期 全国連盟役員

役職	氏名	地方連盟	所属団体
会長	浦添嘉徳	東京	石神井山の会
副会長	今村正一	鹿児島	鹿児島勤労者山岳会
	渡邊健治	岩手	盛岡山友会
理事長	川嶋高志	東京	神楽坂アルパインクラブ
副理事長	石川昌	千葉	船橋勤労者山の会
	臼井邦徳	東京	溪嶺会
	久保典子	埼玉	新座山の会
	今野善伸	栃木	野木山想会
事務局長	小池藍	東京	ポレポレ倶楽部山の子
理事 (欠員1名)	赤間弘記	宮城	朋友会
	浅瀬和人	石川	めっこ山岳会
	阿部哲也	香川	さぬき山歩会
	安東仁志	道央	札幌中央勤労者山岳会
	石川友好	東京	大田ハイキングクラブ
	岩田新一	神奈川	藤沢山の会
	宇田川道恵	埼玉	大宮勤労者山岳会
	大杖哲司	兵庫	メラピークKOBE
	大和田英子	東京	神楽坂アルパインクラブ
	加治郷子	岡山	クラブMONTATA
	三瓶健	神奈川	山岳素行童人メーグリ家
	清野嘉樹	青森	弘前勤労者山岳会
	田上千俊	東京	八王子おおるり山の会
	竹本幸造	静岡	清水勤労者山岳会
	野々脇千沙	兵庫	神戸中央山の会
	平尾繁和	京都	田辺山友会
	三代一宏	島根	松江アルペンクラブ
	武笠真次	埼玉	わらび山の会
	八木澤昌通	栃木	宇都宮ハイキングクラブ
	山本尚徳	千葉	かがりび山の会
山本裕之	道央	札幌北稜クラブ	
吉川幸一	愛知	名古屋山岳同志会	
吉永直樹	福岡	山岳チーム風はるか	
監事	田村廣史	東京	ポレポレ倶楽部山の子
	渡辺三男	神奈川	相模アルパインクラブ

## 第38回全国雪崩事故を防ぐための講習会 少数精鋭で講師研修会を実施

2024年2月2日～4日 長野県、白馬・栂池高原



←写真左: 現地参加講師が持っているのがビーコンパーク

今年で38年目となった全国雪崩講習会だが、コロナ禍で21年・22年は開催ができず、昨年と今回は全国講師だけが参加して研鑽を深めた。初日は二班に分かれて、行動判断とシャベルング・プロービングの検証。夜はオンラインを利用して苫小牧東病院の船木上総副院長による低体温症の勉強会。二日目は午前中、ビーコンパークの利用方法、午後はビーコンへの電波干渉について、全参加者で確認した。夜は改訂したテキストの変更点、机上講習での利用方法、二日間の屋外活動結果報告など、オンライン参加者も含めて熱心に取り組んだ。最終日は地方講習会での机上講習用資料、講習内容の平準化、今後の活動内容について室内で検討した。

コロナ禍で遅れていたテキストの改訂が6年ぶりに第3版として完成したこと、複数埋没者に対する捜索救助訓練の希少な機器であるビーコンパークが実用可能と検証できたことなど、全国雪崩講習会として大きな前進があったと言える。

参加者は東北から柏倉亨、鈴木健一郎、関東から石川昌、笹本勉、陶山正、北陸から平井茂雄、朴木孝之、東海から水野千浩、宮田彰久、近畿から坪山芳樹、中国から小林健一、全国から川嶋高志(責任者)、有安孝浩(事務局長)の13名。オンラインで北海道と宮城県からの参加もあった。

次回は地方講習会の講師養成と新たな講師候補育成ができる講習会にしていきたい。

全国雪崩講習会・責任者 川嶋高志

### ★雪崩事故を防ぐための講習テキスト(第3版)…A4・112ページ、1,000円。全国連盟事務所で注文があり次第、印刷・郵送する。

★ビーコンパーク…親機1台、子機8台。子機を積雪深100cmに埋めたまま、60m離れた場所から発信のオンとオフができる。プローブでヒットすると加速度センサーによりランプが点灯する。8台の子機を掘り出すことなく、2～8名の複数埋没者捜索訓練が可能となる。全国講師の所属する地方講習会で利用できる。



←写真左  
ビーコンの電波干渉テスト

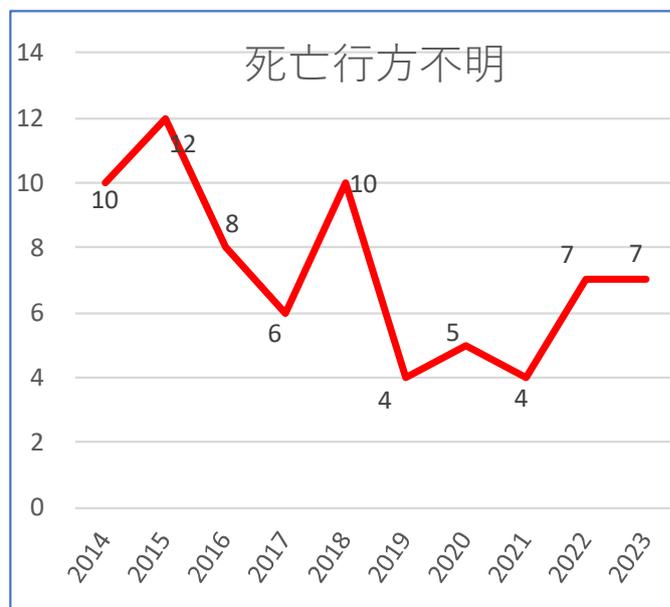
→写真右: 栂の森ゲレンデから天狗原への林道には新たなビーコンチェッカーが設置されていた



第36回総会資料、2023年事故一報の分析より  
 2023年の事故は361件、事故者数366名で、過去最高数を更新した。

### 全国過去10年間の事故の推移(2014~2023)

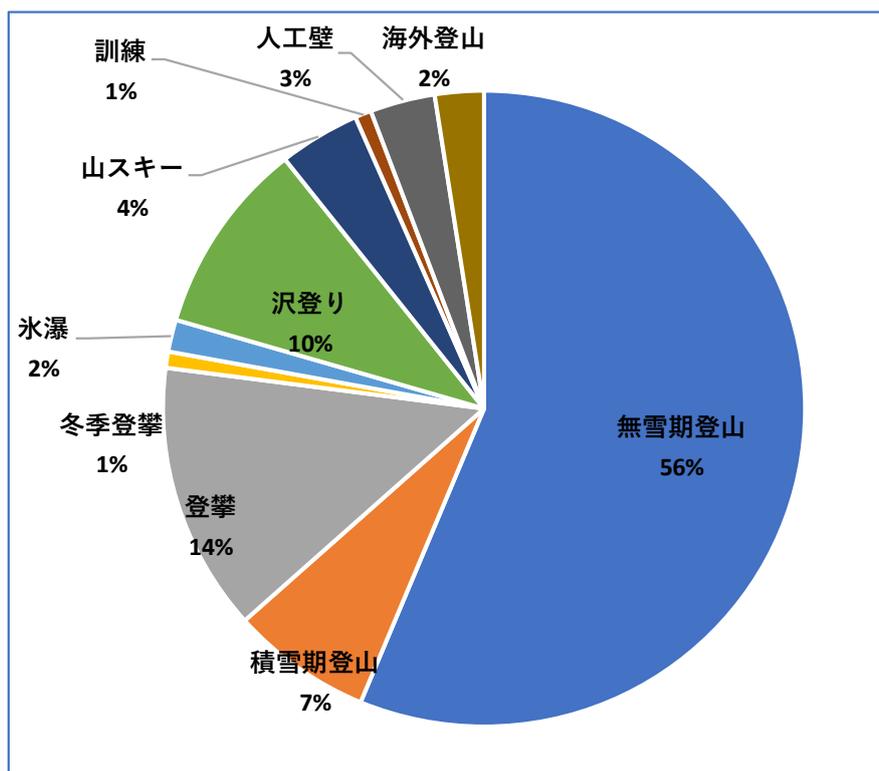
年	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023
事故者数	316	288	299	312	313	329	236	269	334	<b>366</b>
死亡行方不明	10	12	8	6	10	4	5	4	7	<b>7</b>



1995年(29年間)からの統計上で事故者数が過去最多となる。

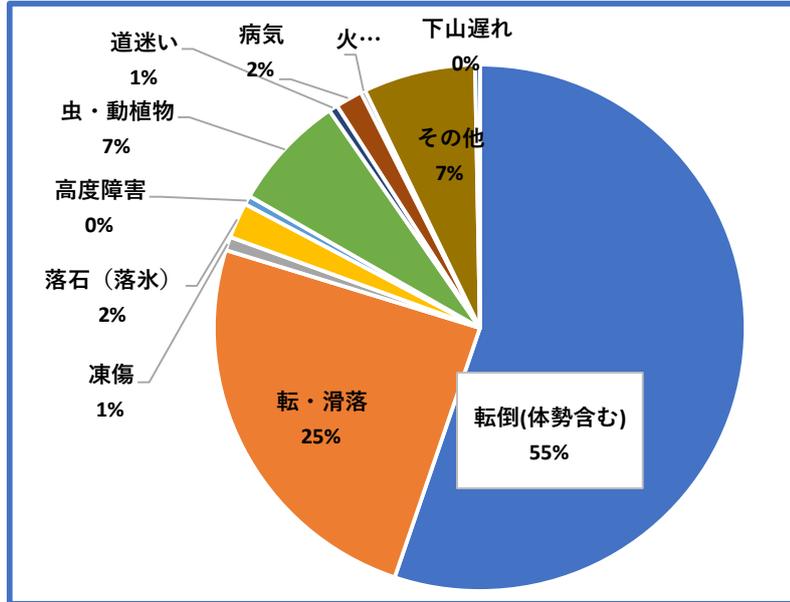
### 形態別事故者の状況

山行形態	事故者数
無雪期登山	206
積雪期登山	26
登攀	50
冬季登攀	3
氷瀑	6
沢登り	36
山スキー	15
訓練	3
人工壁	12
海外登山	2
海外登攀	4
海外トレッキング	3
合計	366



## 原因別事故の状況

原因名	事故者数
転倒(体勢含む)	202
転・滑落	90
凍傷	3
落石(落水)	8
高度障害	2
虫・動植物	26
道迷い	2
病気	6
火傷	1
その他	25
下山遅れ	1
合計	366

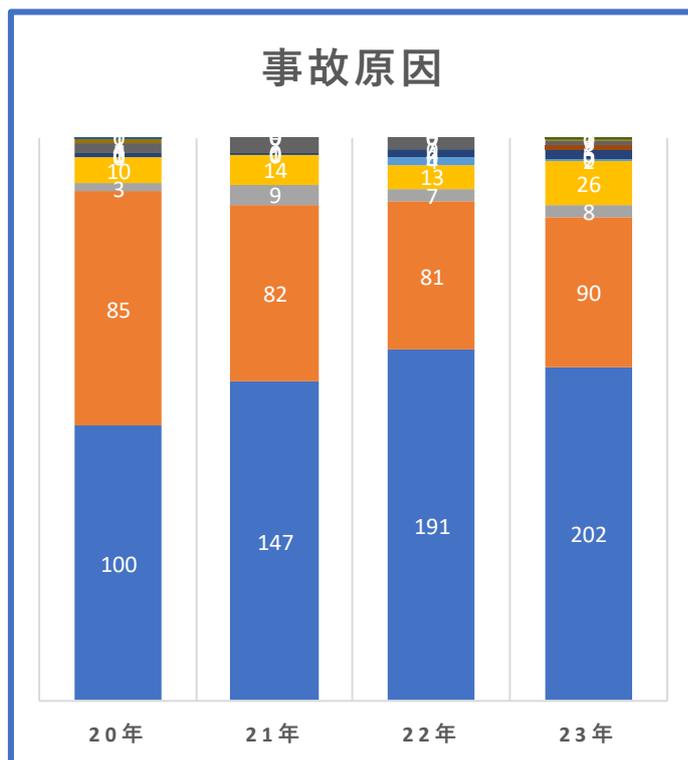


## 原因別事故の状況と転倒事故の男女差

	転倒 (体勢含む)	転・滑落 (墜落含む)	落石	虫・ 動植物	高度 障害	雪崩	病気	道迷い	凍傷	火傷	荒天	下山 遅れ	その他	合計
20年	100	85	3	10	0	0	1	0	4	1	1	0	34	239
21年	147	82	9	14	0	0	1	0	7	0	0	0	9	269
22年	191	81	7	13	4	0	4	0	7	0	0	0	27	334
23年	202	90	8	26	2	0	6	2	3	1	0	1	25	366

※その他は、下山中や下山後に痛みが出た事例、特定の原因が不明な事例、同行者の滑落に巻き込まれた事例等が含まれる。

※虫・動植物は、マダニ14、蜂4、ヒル1、不明1、枝・竹等6が含まれる。



## 転倒による男女差

	転倒	男性	女性
18年	143	56	87
19年	151	61	90
20年	100	38	62
21年	147	66	81
22年	191	68	123
23年	202	79	123



## 1月1日から2月5日までに届いた事故一報

事故発生日	地方連盟	年齢	性別	山名	山行形態	事故原因		傷病名	
1	2023.12.26	東京	74	男	湘南アルプス	無雪期登山	転倒	下山中、ザレた下り斜面で滑り石の間に足が入り転倒した。	左足腓骨骨折
2	12.13	東京	41	男	有笠山	登攀	その他	クライミング中、ヒールフックした足を負傷した。	内側軟骨及び半月板損傷
3	12.23	兵庫	72	男	奥高座谷	無雪期登山	転落	滝の巻き道でメンバーの転落を支えたが、自身が10m程転落した。	仙骨・肋骨骨折他
4	12.17	東京	64	女	足和田山	無雪期登山	転倒	バス停直前の路肩に躓き転倒した。	左目上部打撲
5	12.31	東京	31	男	南岳	冬季登攀	その他	テント内で鍋をひっくり返して火傷をした。	火傷
6	12.29	大阪	50	女	不動岩	登攀	転落	核心部を過ぎたところでクリップできずフォールした。	踵骨折
7	12.31	東京	56	男	ニュージールランド	海外	転落	ボルダリングで転落し負傷した。	腰及び肩の打撲
1	2024.1.07	東京	57	女	鍋割山	無雪期登山	転倒	段差の大き目なカーブで足を引っかけ転倒した。	左足首骨折
2	1.03	神奈川	49	男	幕岩	登攀	転落	クライムダウンで足元を見ず、地面に着地後ひっくり返った。	肋骨・左手首骨折
3	1.06	道央	64	男	タケノコ山	山スキー	転倒	下降中、足を笹に引っかけ転倒した。	左足首捻挫
4	1.07	道央	49	男	八ヶ岳・横岳	氷瀑	その他	パーティー内で事故が発生しピバークして凍傷になった。	手足指の凍傷
5	1.07	神奈川	55	女	八ヶ岳・横岳	氷瀑	滑落	トラバース中、ルート上の枝を落とそうとして巻き込まれ、3-5m程転落した。	右足骨折
6	1.07	栃木	57	男	八ヶ岳・横岳	氷瀑	その他	パーティー内で事故が発生しピバークして凍傷になった。	手足指の凍傷
7	1.08	千葉	52	男	屏風山	登攀	滑落	2つ目のカムをセット後、滑落しグラウンドフォールした。	胸椎・腰椎圧迫骨折
8	1.07	静岡	65	女	竜ヶ岳	積雪期登山	転倒	下山中、石に躓き転倒した。	左足首脱臼骨折
9	1.14	京都	75	女	比叡山	無雪期登山	転倒	段差に躓き転倒した。	左小指骨折
10	1.07	兵庫	49	女	八ヶ岳・赤岳	積雪期登山	その他	強風の中を歩き凍傷になった。	凍傷
11	1.19	道央	62	女	前十勝岳	山スキー	転倒	下降中、転倒した。	左脛骨遠位端骨折
12	1.19	三重	67	女	朝熊ヶ岳	無雪期登山	転倒	下山中、足を置いた石が動きバランスを崩して転倒した。	腓骨骨折
13	1.27	京都	82	男	愛宕山	無雪期登山	転倒	下山中、3合目付近で転倒した。	右足膝骨折
14	1.25	神奈川	58	男	室内ジム	人工壁	転落	リード壁でフォールし背中を強打した。	肋骨骨折・打撲

事故一報の受領順で掲載

年齢	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代	合計
男性	0	1	3	4	1	2	1	0	12
女性	0	0	1	3	4	1	0	0	9
合計	0	1	4	7	5	3	1	0	21

形態	無雪期	海外登山	沢登り	氷瀑	冬季登攀	登攀	人工壁	訓練	合計
男性	3	1	1	0	3	2	1	1	12
女性	4	2	1	0	1	1	0	0	9
合計	7	3	2	0	4	3	1	1	21

原因	墜落	転落	滑落	転倒	虫・動植物	体勢	病気	その他	合計
男性	0	4	1	3	0	0	0	4	12
女性	0	1	1	6	0	0	0	1	9
合計	0	5	2	9	0	0	0	5	21

傷病	骨折	挫傷	打撲	裂傷	断裂	刺咬傷	損傷	その他	合計
男性	6	0	0	1	0	1	1	3	12
女性	7	0	0	0	0	1	0	1	9
合計	13	0	0	1	0	2	1	4	21

## 労山基金 2024年1月 交付認定の一覧

No.	地方連盟	口数等 ※	事故発生日時	山域名	山行形態	事故原因	事故状況	傷病名
1	道東地区	50代女性 5口	2022/12/26 12時30分頃	大雪山系 三段山、1050m付近	山スキー	転倒	スキー滑走時にバランスを崩して転倒。	右膝関節骨折
2	神奈川県	50代女性 5口	2023/01/14 10時20分頃	八ヶ岳連峰 渋の湯、近傍	積雪期登山	転倒	歩行時に靴と靴紐を引っかけて転倒し、顔を地面に打ち付け前歯を折損。	歯牙破折
3	群馬県	60代男性 10口	2023/01/20 15時00分頃	関東・甲信越その他 湯ノ丸山、湯ノ丸スキー場	山スキー	転倒	下り斜面を、スキーで降りてきて停止する際に、逆エツツになり、反対側にこけて転倒した。	左第5指関節捻挫・右肘部 打撲・頸部捻挫・腰部捻挫
4	東京都	50代女性 3口	2022/01/05 11時30分頃	奥多摩・高尾・陣馬 棒ノ折山、日向沢の峰（天目山と 棒の折山のほぼ中間地点）	無雪期登山	転倒	日向沢の峰を越え、標高差300m程の急な下りの途中、2mほどの小石のザレ場で滑る。その際、右脚は前へ伸び、左足は体に巻き込まれる（自分のお尻の下に敷く）ような恰好となり左脚「脛骨及び腓骨」を骨折（非開放骨折）。救助要請後、警察のヘリコプターにより搬送。	左脛骨腓骨骨折
5	道央地区	60代男性 10口	2023/01/16 10時00分頃	北海道その他 三段山、1200m付近	山スキー	その他	三段山1200m付近で新雪が30～40cmほど積もっており、積雪の安定性を確認するためコンプレッションテストを実施し、肩で雪に刺激を与えていたところ、肘に違和感が発生した。早期に回復するものと考えていたが、2週間を経てタオルを絞れない、瓶・コップを持ってないなど日常生活に支障がでた。	上腕骨内側上顆炎
6	東京都	40代男性 10口	2023/01/22 14時50分頃	近畿地方その他 三方岩岳、白川郷展望台付近	山スキー	転倒	三方岩岳上部より滑走、最後林道手前数十メートルで全てのゲストがスノーモービルと合流したのを見届けて、自分のみ急斜面からショートカット気味に滑走、その先の落差約1.5mの段差に気づかず、そこを飛び越えてバランスを崩しながら着地した際に受傷。	右膝前十字靭帯損傷・ 外側半月板損傷
7	京都府	60代女性 3口	2023/02/08 14時00分頃	人工壁	人工壁	転・滑落	クライミング施設にて高さ8mのリード壁を一人で登っていた時、オートビレイ（命綱）をハーネスに装着していないことに気付かないまま、頂上から飛び降りてしまい、うつ伏せの状態に落下した。	脊柱管内急性硬膜外血腫・ 第6-7頸骨損傷・多発性骨 髄損傷
8	道央地区	40代男性 5口	2023/03/19 6時30分頃	北海道その他 塩谷丸山、頂上付近	積雪期登山	転・滑落	山頂より下山開始後の下り斜面で、小型ソリで滑走中に左足(12本爪アイゼン装着)を硬い雪に引っ掛けてしまい前のめりに転倒。事故後はパーティー内で応急処置をして自力下山。	左足首骨折
9	奈良県	60代男性 5口	2023/04/09 14時30分頃	近畿地方その他 長尾山、新岩がミンカケレンテ	登攀	転倒	登攀終了後、切り株に腰かけて休憩中に突然、左側が2m程度の斜面になっていたためそのまま転落し頭部打撲して停まる。直後意識清明で会話可能も、両上下肢の感覚なく可動不可。頭部より出血多量。救急要請。救急隊到着し17時20分ヘリにてピックアップ。両上下肢の感覚なく可動不可。頭部より出血多量。入院。	非骨傷性頸髄損傷・頭髄損 傷
10	長崎県	70代女性 1口	2023/04/19 12時00分頃	九州・沖縄その他 檜山、長崎県諫早市	無雪期登山	転倒	昼食後、檜山への登山道を歩行中、窪みに足をとられ後ろに転倒。その際右手をつき小指を骨折。	右手小指骨折
11	群馬県	60代女性 3口	2023/04/30 15時00分頃	霧島・えびの高原、永田岳 鹿野沢避難小屋に行く途中	無雪期登山	転倒	鹿野沢避難小屋に行く途中、笹が刈られた登山道で、石を留めるために囲う網のようなものにつまずき、バランスを崩し転倒して頭部、顔面、右膝を打った。その際首をひねり損傷した。	頭部・首打撲
12	大阪府	70代女性 3口	2023/07/18 9時55分頃	北ア 剣・立山周辺 大日岳～称名滝、大日平～牛ノ首 を過ぎ猿ヶ番場手前の坂道	無雪期登山	転倒	道幅が狭く、ジグザグの足場の悪い坂道で離合した後、転倒した。	左鎖骨骨折・左肩挫傷
13	静岡県	50代男性 3口	2023/07/22	南ア 赤石・聖・光岳 大井川西俣、北俣出合い付近	沢登り	転倒	沢を上流に向かって歩いている時、足場に抱えるほどの岩が動き、転倒したところにその岩がふくらはぎに当たった。溪流スパッツを着用していたが、衝撃で15cm程の傷を負ったと思われる。出血もあり傷も深かったので仲間に救助要請を頼んだ。	創傷（裂傷）左右下肢
14	茨城県	60代女性 1口	2023/08/22	北ア 後立山連峰 白馬岳、白馬岳→小蓮華山→白馬 大池縦走中に発生	無雪期登山	転倒	尾根の登山道を縦走中、つまずいて、右足首を捻挫した。歩行可能であったので、計画通り、樽池平まで自力で下山後、交通機関を利用して宿に戻った。翌23日朝、腫れと内出血が観察された患部を氷で冷やしながら、同日、自車で 取手に戻り、整形外科を受診し、骨折をしていることが判明。	右足関節外果骨折
15	東京都	70代女性 5口	2023/09/18 12時30分頃	朝日連峰 光禿山、中東・千刈分岐	無雪期登山	転倒	滑る30分ほど前を通り雨が降り濡れた斜面を下山中に滑り、手をついた際体重がかかってしまった。	左手首橈骨遠位端骨折
16	兵庫県	60代男性 10口	2023/10/08 8時30分頃	八ヶ岳連峰 にゅうから中山峠への途中	無雪期登山	転倒	にゅうから中山峠に向かう登山道で岩と木の根が張り出し、1.3mほどの高低差があるところを足を木の根に乗せて越えようとした際に、足が滑り体勢を崩し、落ちようとする瞬間に前の木の根をつかもうとしたが、つかむことが出来ず、後ろに2～3回転しながら転倒。	打撲・捻挫（右手・胸部・ 左膝関節）・右肋骨
17	福岡県	60代男性 3口	2023/09/27 13時00分頃	阿蘇・九重山系 大船山、入山公墓付近	無雪期登山	転倒	下山中、苔むしたところで滑り転倒、右手を着いたとき指を痛めたが、たいしたことないと思いそのままにしていたが、痛みが引かないため10月12日に受診したところ、剥離骨折していたことが判明した。	右手中指、剥離骨折
18	埼玉県	60代女性 1口	2023/10/14 13時45分頃	那須・日光・足尾・常陸 三本槍ヶ岳、中の大倉尾根	無雪期登山	転倒	三本槍ヶ岳登頂後、中の大倉尾根を下山中、数日前の雨でぬかるんでいた登山道のちょっと段差のあるところすべり、尻もちをつくと同時に左手で地面を強くついてしまった。	左橈骨遠位端骨折
19	東京都	60代女性 3口	2023/12/17 14時00分頃	富士山と周辺 足和田山、下山してバス停(道の 駅かつやま)直前の道路	無雪期登山	転倒	バス停直前の道路の路肩に躓き転倒。	左目の上部を打撲

※口数等：（団＝団体口数、（個＝個人口数、表記がないものはすべて個人登録のみ

## ▲ 全国連盟の活動

2024年2月

- 02日 会計監査
- 06日 三役会、同日 役員選考委員会
- 07日 遭難対策部会
- 13日 海外委員会
- 15日 理事会
- 17-18日 第36回総会
- 27日 労山基金運営委員会

### 労山基金の交付申請について

それぞれ提出期限にご注意ください

- ① 事故一報: 事故日から 30 日以内
  - ② 交付申請書: 事故日から 1 年以内
- ※期限を過ぎると交付申請できません

### 山筋ゴーゴー体操 石田良恵講師辞任に伴うお知らせ

日本勤労者山岳連盟は会員の筋力作りにより、山での事故を減らし、いつまでも山を楽しめるように「山筋ゴーゴー体操」を作り、普及をしてきました。

山筋ゴーゴー体操講習会・サポーター養成講座の講師を長年務めてきた石田良恵講師が体調不良のため2023年12月で辞任しました。

これに伴い、今後の講習会・サポーター養成講座の体制を新しくし、開催要項も変更になります。今後の体制、開催要項については3月以降に検討してお知らせする予定です。

今後も各地方連盟におかれましては「山筋ゴーゴー体操」の全会員普及のため講習会等を積極的に開催していただくようお願いいたします。

日本勤労者山岳連盟 理事長 川嶋高志

## ▲ 部・局・専門委員会の活動

### ■ 遭難対策部

#### 過去最高の事故件数と事故者数確定

2月5日までに届いた事故一報は、19件21名。今月の事故原因は、転倒9名。転・滑落7名。その他5名。登山形態は、無雪期7名。積雪期2名。登攀(冬季登攀含む)5名。氷瀑3名。山スキー2名。海外・室内ジム各1名。下山中の事故は10件、内9件が転倒事故となり下山中の転倒事故が9割と増加している。今月は、転落・滑落・転倒により13名が骨折、3名の凍傷や、テント内での火傷も発生している。八ヶ岳の氷瀑では1名が滑落し骨折、同行者2名と共に現場でビバーク。同行者2名が凍傷という2重遭難が発生した。1月の登攀事故は、クライムダウン中に足元を見ずに着地し、ひっくり返って更に転落した事例。2つ目のカムをセットした後に滑落しグラウンドフォールした事例が発生している。何れも注意力や力量不足が要因であったと思われる。より確実に慎重な行動をお願いしたい。

2023年の年間事故件数は、1月30日までの申請により確定した。事故件数は361件、事故者数366名と過去最高数を更新した。事故増加の原因と今後の事故対策のあり方を第36回総会の中でも討議したが、さらに詳しい転倒事故の分析や転落や滑落事故の課題を検討する必要がある。(遭難対策部長 石川昌)

### ■ 海外委員会

#### 海外山行交流集会に向けて

海外山行交流集会の開催案内を登山時報夏号(7月発行)に掲載する。海外の山行も時代と共に大きく変わってきている現状を紹介し、会員へ海外山行の情報提供を進める。

集会のタイムテーブルを以下のように検討した。

- ・初日: 開始 13:00→終了 17:00(夜交流会)
- ・2日目: 開始 9:00→終了 12:00

記念講演は講演依頼を幾人か打診し、4月頃を目処に候補を絞り、7月頃までに決定する。海外山行に興味を持って聞いてみたいと思うような話題や情報を提供できる人に依頼する。

山行報告は初日2本、2日目4本を予定。2023年・2024年の山行から報告してもらいたい山行を選んでいく。

海外委員は2月17・18日の全国連盟総会に傍聴参加する。総会後に第1回(対面)海外委員会を開催して、主に集会のプログラムを検討する。第2回海外委員会は3月12日に予定している。

(海外委員委員 五十畑茂)